

# 平成30年度「さいたま市民意識調査」 調査結果について

---

平成30年12月27日 記者会見



もっと身近に、  
もっとしあわせに

# 「さいたま市民意識調査」の概要

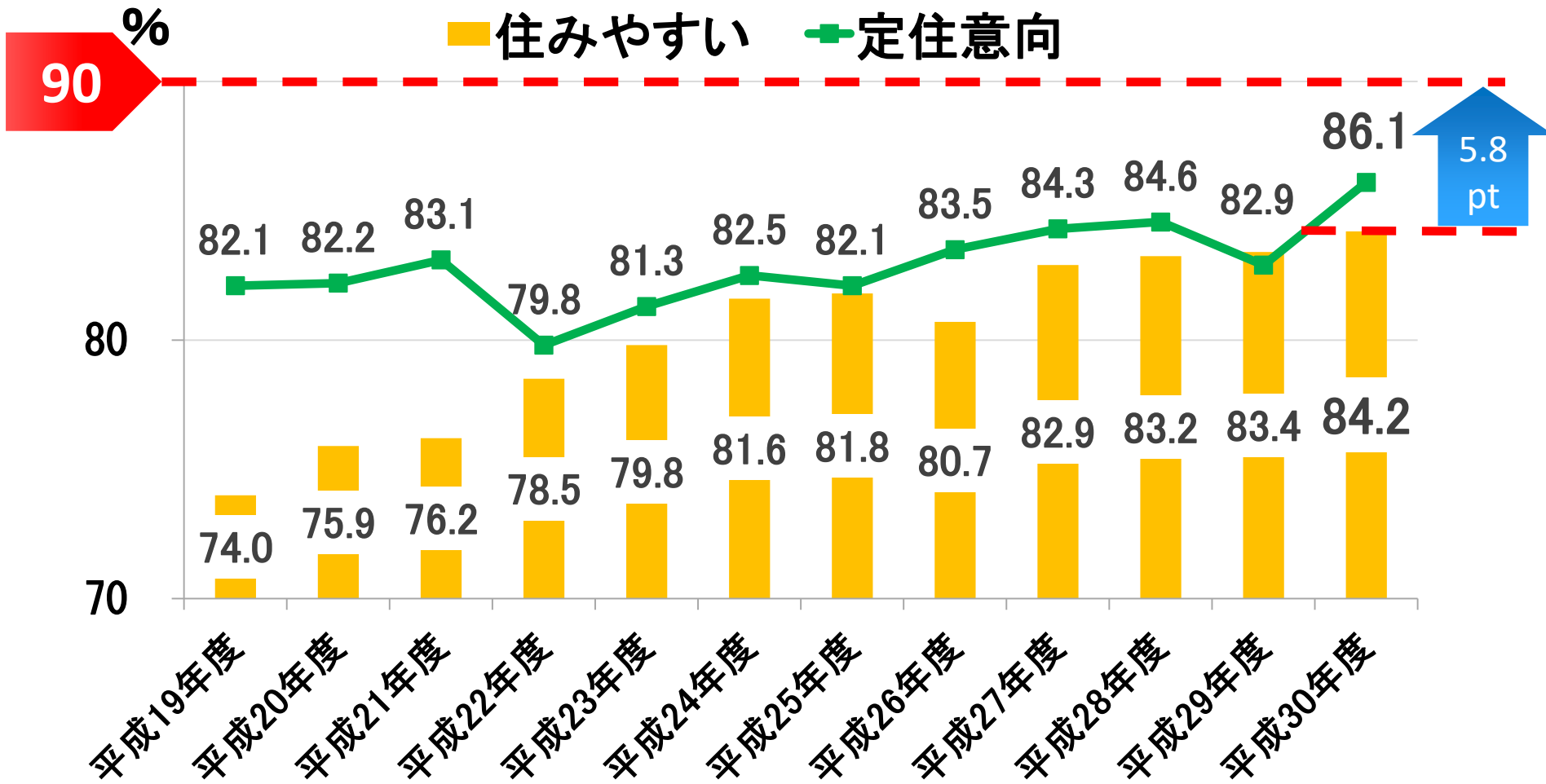
## 調査項目

在住者意識調査		在勤者意識調査
① 地域での生活	④ 市政との関わり	① さいたま市のイメージ
② 地域のイメージ	⑤ 市政への満足度・重視度	② 市内での活動
③ さいたま市のイメージ	⑥ 今の地域を選んだ理由	

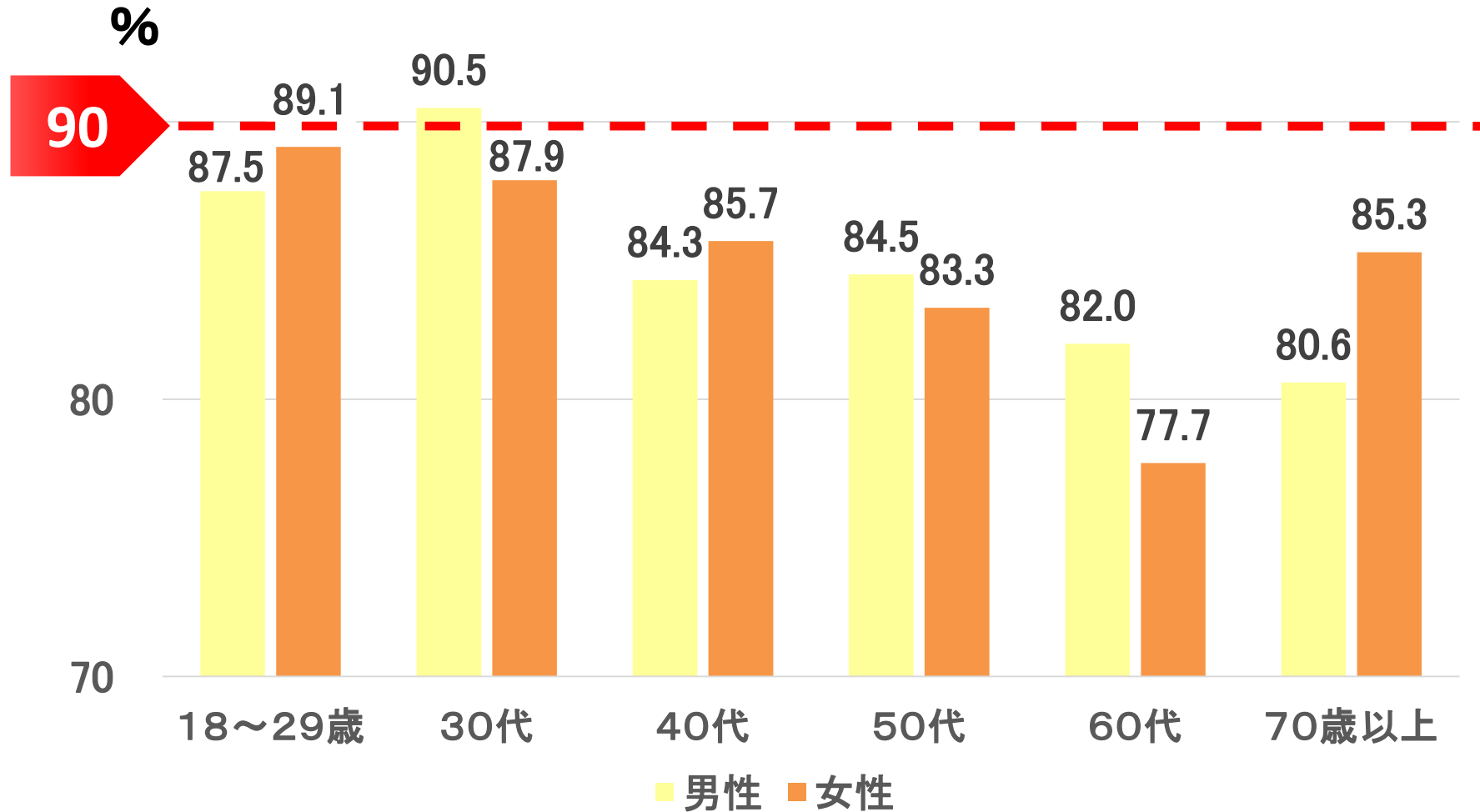
## 調査のあらまし

	在住者意識調査	在勤者意識調査
調査対象	市内在住の満18歳以上の男女	市外から市内に通勤する満18歳以上の男女
調査対象数	5,000人	2,000人
回収結果	有効回収数 2,530	有効回収数 672

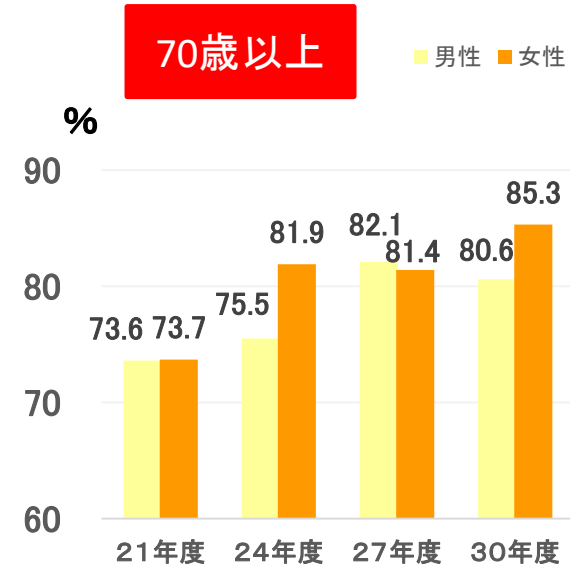
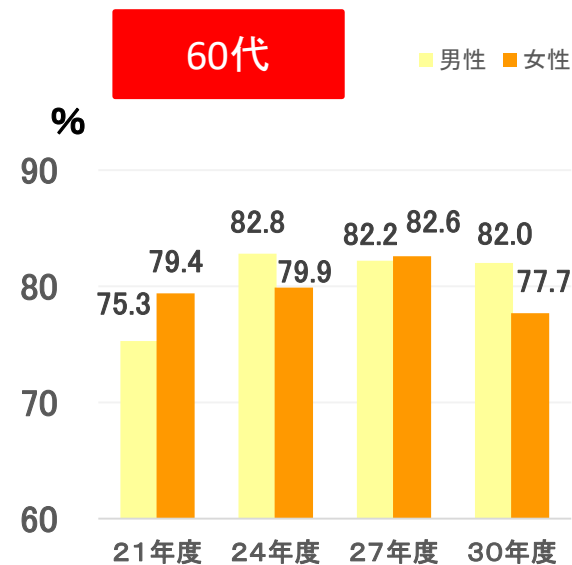
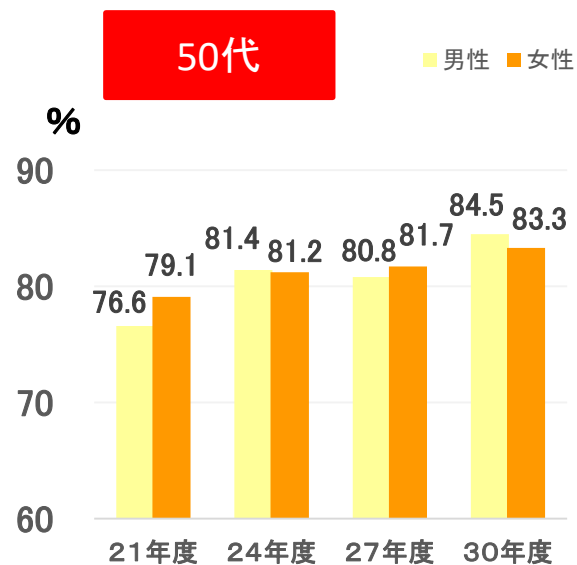
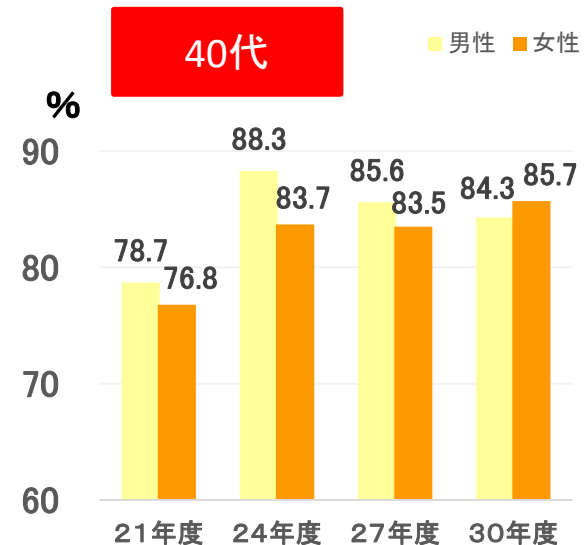
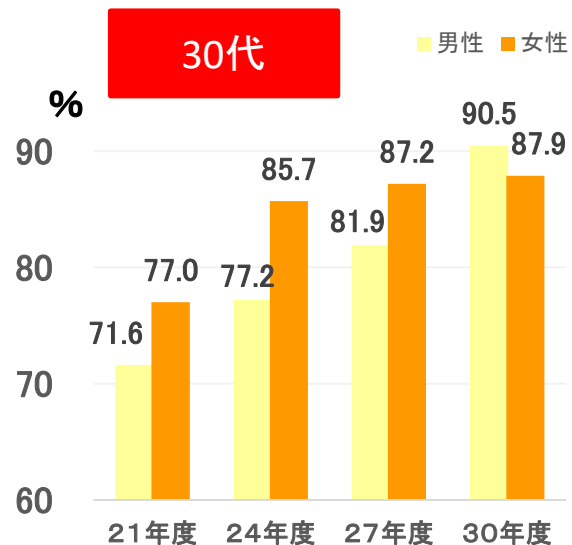
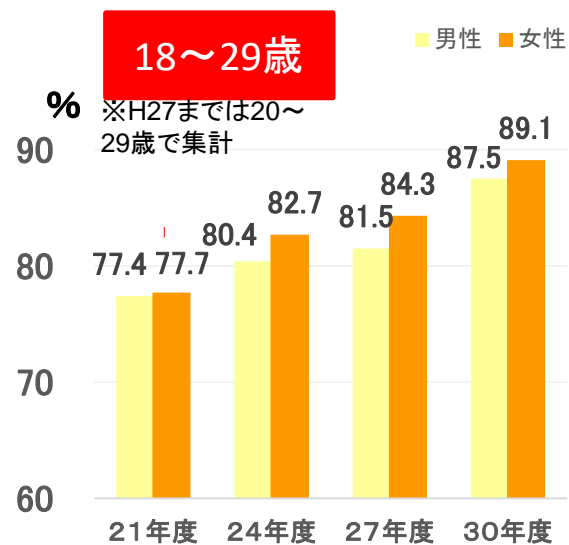
# 「住みやすい」「住み続けたい」とも 8割超で増加基調が続く



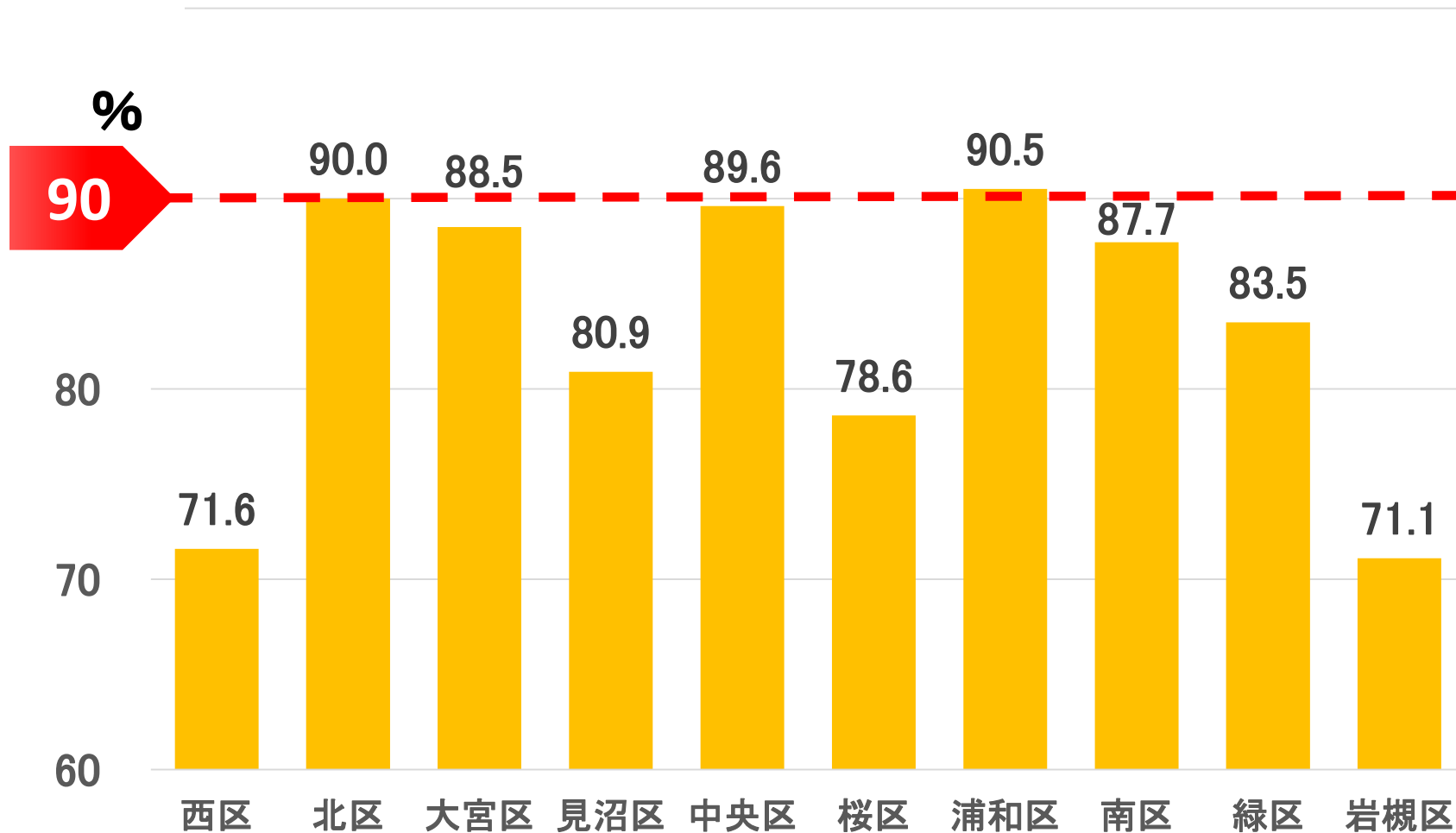
# 「住みやすい」(性・年代別)



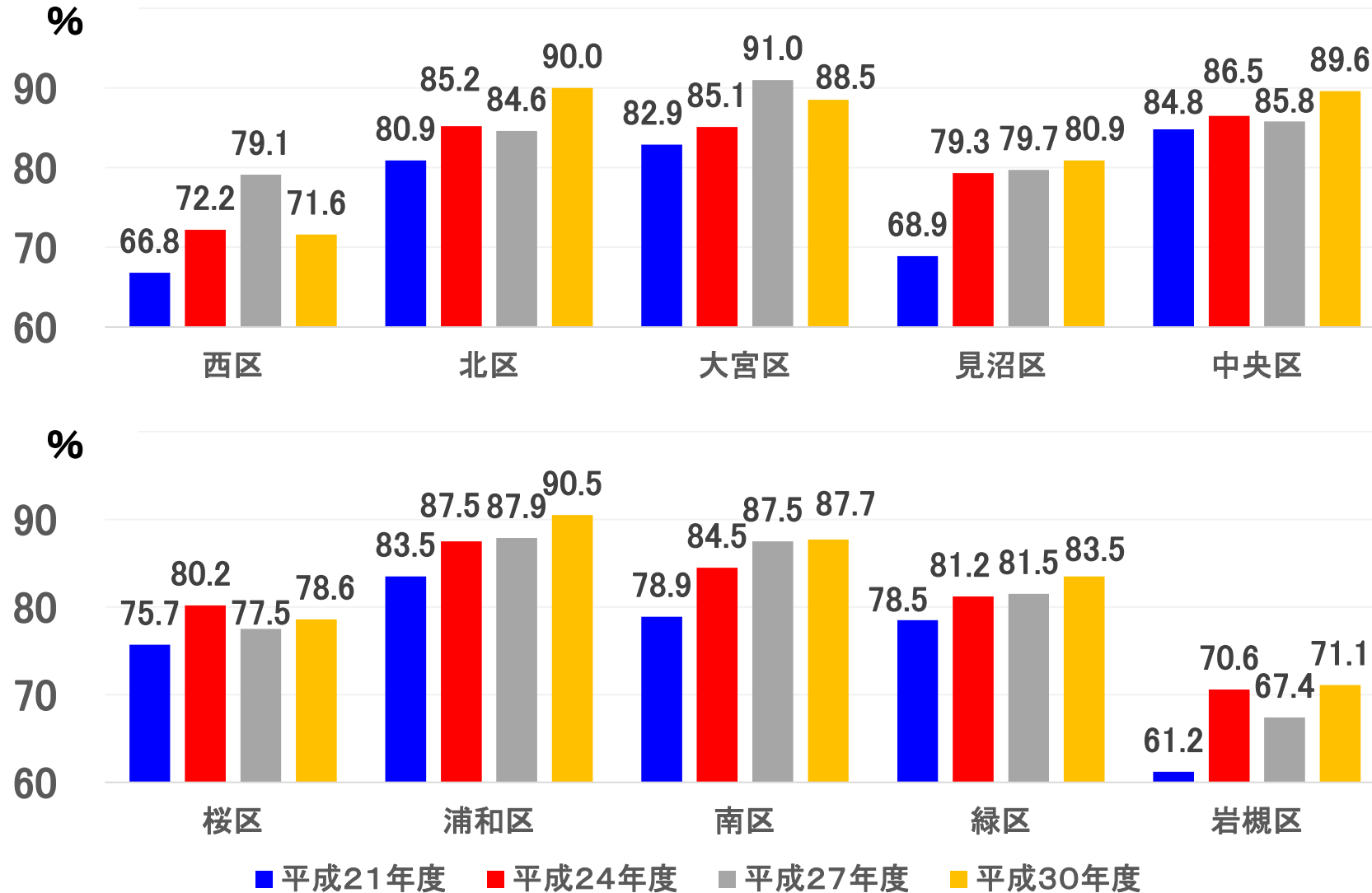
# 「住みやすい」推移(性・年代別)



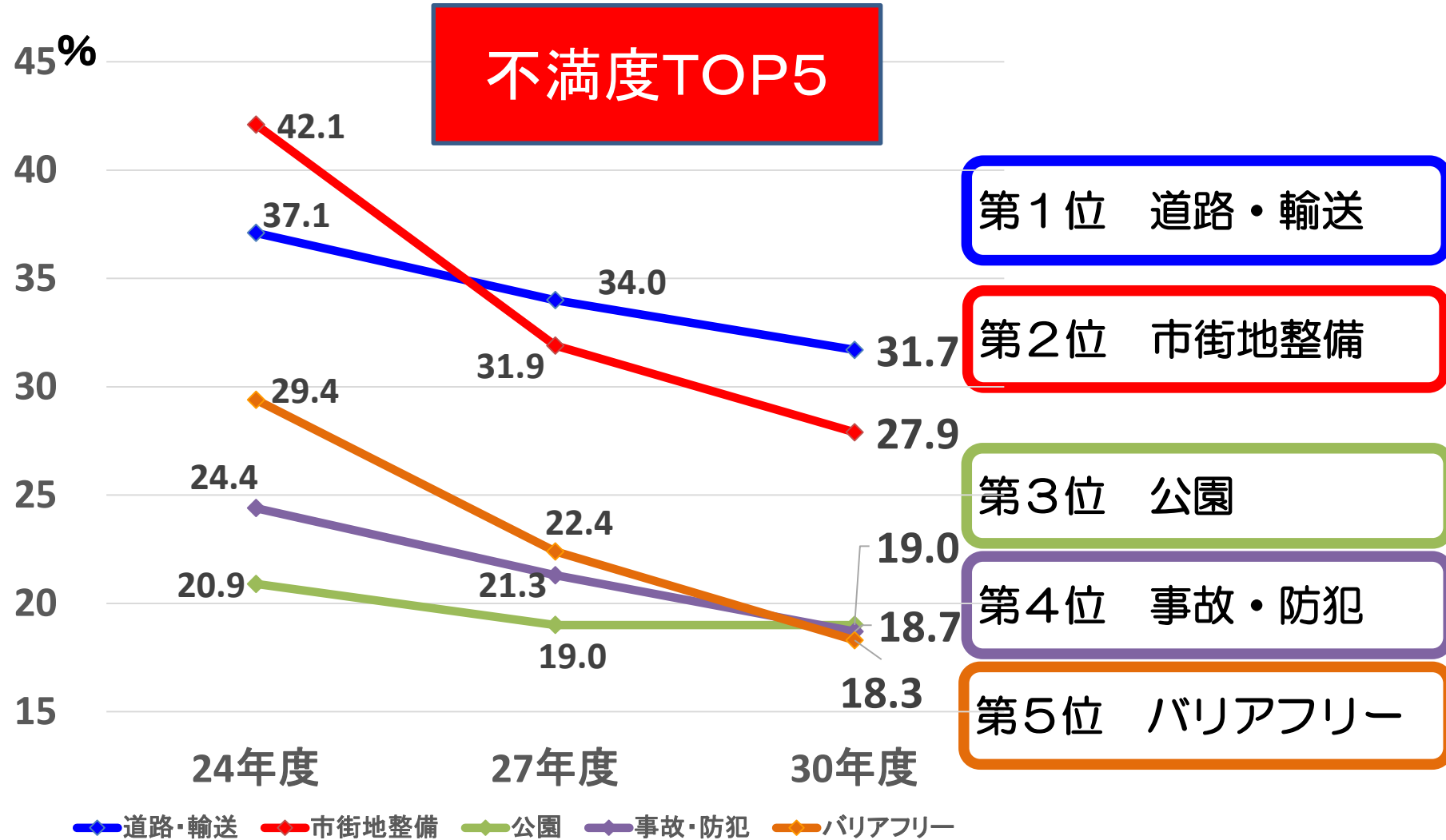
# 「住みやすい」(居住区別)



# 「住みやすい」推移(居住区別)



# 施策や事業の「不満度」推移上位5項目



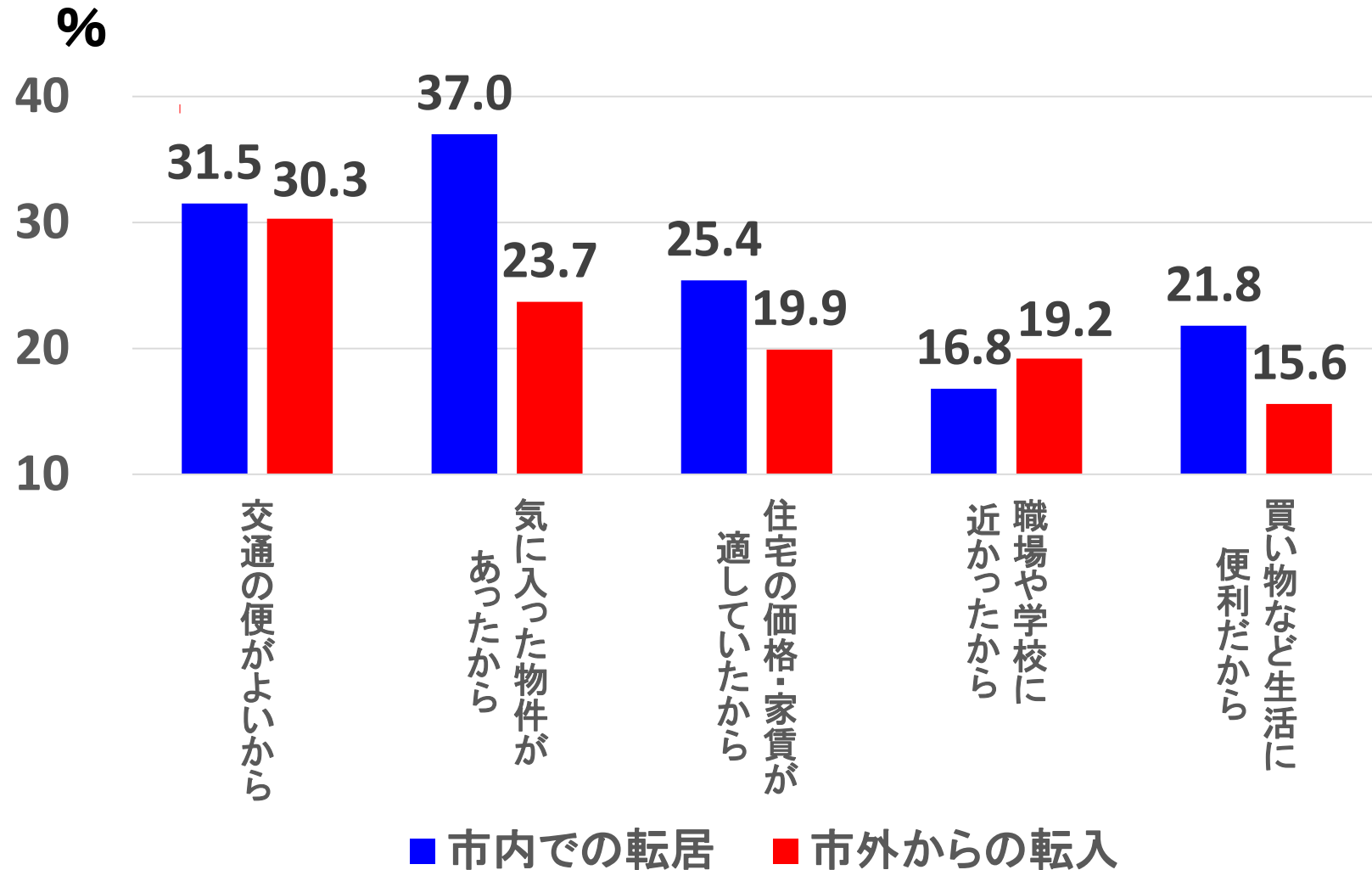


# 施策や事業の「重視度」推移上位5項目

## 重視度TOP5

	24年度	27年度	30年度
1位	高齢者福祉 (41.1%)	高齢者福祉 (37.0%)	高齢者福祉 (37.1%)
2位	防災 (30.8%)	子育て支援 (27.6%)	道路・輸送 (29.9%)
3位	事故・防犯 (29.4%)	道路・輸送 (24.7%)	子育て支援 (29.6%)
4位	市街地整備 (29.3%)	事故・防犯 (23.5%)	市街地整備 (23.6%)
5位	道路・輸送 (29.0%)	地域医療 (23.0%)	生活環境 (23.0%)

# 「今の地域を選んだ理由」上位5項目 (以前住んでいた地域別)



# 「今の地域を選んだ理由」上位3項目（居住区別）

西区	1位 住宅の価格・家賃が適していたから 29.1%	北区	1位 交通の便がよいから 30.0%
	2位 気に入った物件があったから 21.3%		2位 気に入った物件があったから 26.3%
	3位 家族や親せき、知人がいたから 18.9%		3位 職場や学校に近かったから 22.9%
大宮区	1位 交通の便がよいから 49.4%	見沼区	1位 住宅の価格・家賃が適していたから 31.7%
	2位 気に入った物件があったから 26.1%		2位 気に入った物件があったから 25.4%
	3位 買い物など生活に便利だから 23.3%		3位 交通の便がよいから 17.9%
中央区	1位 交通の便がよいから 37.1%	桜区	1位 気に入った物件があったから 33.1%
	2位 気に入った物件があったから 27.1%		2位 住宅の価格・家賃が適していたから 23.7%
	3位 買い物など生活に便利だから 25.0%		3位 交通の便がよいから 19.4%
浦和区	1位 交通の便がよいから 42.0%	南区	1位 交通の便がよいから 42.7%
	2位 気に入った物件があったから 29.5%		2位 気に入った物件があったから 29.2%
	3位 子どもの教育環境がよいから 27.1%		3位 都心に近いから 25.1%
緑区	1位 気に入った物件があったから 33.3%	岩槻区	1位 住宅の価格・家賃が適していたから 25.2%
	2位 住宅の価格・家賃が適していたから 25.6%		2位 気に入った物件があったから 24.5%
	3位 交通の便がよいから 23.6%		3位 自分や家族の家・土地があったから 23.8%

